

# 生体部分肝移植第1例目術後報告

乗富 智明<sup>1)2)</sup> 山下 裕一<sup>1)2)</sup> 山口 良介<sup>2)</sup>  
三上 公治<sup>2)</sup> 山内 靖<sup>2)</sup> 渡邊 建詞<sup>2)</sup>  
前川 隆文<sup>2)</sup> 白日 高歩<sup>2)</sup>

1) 福岡大学病院手術部

2) 福岡大学医学部第二外科

**要旨：**我々は、福岡大学病院において第1例目の生体部分肝移植手術を行ったので報告する。患者は60歳、男性。C型肝硬変に合併した肝細胞癌を治療してきたが、慢性肝不全も発症した。2005年5月14日に息子をドナーとした左肝グラフトによる生体部分肝移植手術を行った。グラフト容積がレシピエントの標準肝容積の40%未満であったために術後第7病日より過少グラフト症候群に陥ったが回復した。また、術後第22病日に急性拒絶反応も来したがステロイドパルスで軽快した。患者は、術後第66病日に退院した。

**キーワード：**生体部分肝移植術，左肝グラフト，過少グラフト症候群，急性拒絶反応